

農林水産大臣賞

ぬのさわしゅうらく
布沢集落

(福島県二本松市)



布沢集落の皆さん

布沢集落は、福島県東部の阿武隈山系に位置する 20 戸 62 人の中山間地域集落で、約 15ha・

155 枚の棚田を守りながら農業を営んでいる。令和 3 年には「東和の布沢棚田」が国の指定棚田地域に認定され、令和 4 年には「つなぐ棚田遺産」に選定された。

一方で、人口減少や高齢化、担い手不足に加え、東日本大震災や令和元年東日本台風（台風 19 号）による被害など、多くの課題に直面してきた。こうした状況の中、住民は先人から受け継いだ棚田や里山景観、伝統文化を次世代へ継承するため、集落一体となったむらづくり活動を展開している。

農業生産面では、「布沢機械利用組合」が中心となり、高齢農家等の田植えや稲刈り作業を受託することで営農継続を支援し、遊休農地の発生防止と農地保全に取り組んでいる。また、鳥獣被害対策や農道・水路の共同管理を進めるほか、棚田米を活用した純米酒や東和の棚田アイスの商品化により、地域資源の高付加価値化と所得向上を図っている。

環境保全活動では、「布沢の環境を守る会」が中心となり、水田ビオトープ整備やホタル観察会、生き物調査を実施している。さらに、小学生を対象とした「田んぼの学校」を開催し、農業・農村の多面的機能の理解促進や農業体験を通じて食と農の大切さを伝えている。

また、棚田オーナー制度による都市住民との交流や、女性組織「天女の会」による「布沢棚田の芸術祭」の開催を通じて、地域内外の交流促進とコミュニティ活性化を実現している。



布沢棚田での田植え



ぬのさわビオトープでの生き物
観察会



布沢棚田の芸術祭の様子